



社協氷上支所ぷちホッと通信

広がる！ふくしの輪

令和5年 **12月**号
vol. 52

社協では、小・中学生のみなさんが福祉について学ぶ「ふくし学習」を行っています。

11月の下旬から12月の月上旬にかけて、2つの小学校に行きました。

西小学校5年生はエルダートライ（高齢者疑似体験）、6年生は認知症サポーター養成講座を、北小学校4年生はエルダートライ・車いす体験と認知症サポーター養成講座を実施し「ふくし」について学習しました。

エルダートライでは、高齢者になると出来にくくなること（腰が伸びない、足が重い、目が見えにくい、耳が聞こえにくいなど）と、現在の自分自身との違いを体験しました。車いす体験では、車いすの介助の方法と介助される当事者の両方を体験し、どうすれば安心・安全で信頼してもらえるかを考えることができました。認知症サポーター養成講座では、認知症とは何か・認知症の人と接する時に気を付けることなどを勉強しました。児童のみなさんからは「エルダートライをして、階段の下りが怖いと思った」「困っている人がいたら声を掛けようと思った」「車椅子介助が難しかった。できない時は無理せず大人の人を呼ぼうと思った」といった感想が聞けました。

ふくしの気持ちを持った子どもたちがたくさんいるという事は本当に心強いですね！



ご協力ありがとうございます！

丹波市共同募金委員会では10月1日より赤い羽根共同募金運動を行っています。地域の皆さま、団体さまにはご協力いただきありがとうございます。氷上地域の小・中学校でも児童・生徒のみなさんが赤い羽根共同募金の協力を呼びかけ、校内で募金活動を行い、募金を集めてくださいました 

みなさんからお預かりした赤い羽根共同募金は、一度【兵庫県共同募金委員会】へ送り、1割は兵庫県の福祉施設や災害の準備金に、残りの9割を来年度の丹波市の福祉事業に活用します。



祝 いきいき百歳体操250回記念！

谷村いきいき会百歳体操が11月29日に250回目のいきいき百歳体操をされました！百歳体操200回の際にお祝いをされる予定でしたが、コロナ禍だったため延期され、250回で記念会を行なわれました。社協氷上支所より、コロナ禍にも負けず活動を続けてこられた谷村いきいき会さんに表彰状をお渡ししました（^^）

いきいき百歳体操の後は、365歩のマーチに合わせたゆるゆるダンスや全員で手話歌にチャレンジ！

そのあとみなさんで一緒に昼食会を開き、楽しいひと時を過ごされました☆これからも、いきいき百歳体操を続けて頂きたいです♪



安心して暮らせる地域を目指して

12月15日に幸世地区の支えあい推進会議『ほっこりさちよサポート会議』で、自治会長、民生委員・児童委員、民生・児童協力委員の連携強化を目的とした意見交換会を実施されました。

幸世地区では、令和4年度に75歳以上の方を対象としたアンケート調査を実施されており、その中で「災害時の声掛けや見守り」のニーズが高いことが分かり、まずは自治会内で自治会長、民生委員・児童委員などが平時から情報交換ができる関係づくりに取り組もうということでの今回の意見交換会へと繋がりました。

参加者からは、「今後、自治会役員と民生委員・児童委員、協力委員と情報交換する場を設けたい」、「グループワークで他の自治会の取り組みを聞くことができ良い機会となった」などたくさんの前向きな意見が出ていました。

このような話し合いを重ねることで、ますます安心して暮らせる幸世地区になるといいですね！



年賀状

社協では、毎年75歳以上のおひとり暮らしの方へ年賀状を送付しています。

今年は、絵手紙ボランティアグループのへたの会さん、柏原点訳グループさん、氷上中学校のみなさん、東小学校1年生のみなさんに年賀状を作成頂きました。ご協力ありがとうございました☆



ご挨拶

2023年も残すところあと僅かとなりました。

皆さまには今年も社協の事業にご理解ご協力を賜りありがとうございます。

これからも、地域にふくし・支えあいを広めるために邁進してまいりますので、2024年もよろしくお願い致します。



良いお年を 
お迎え下さい